

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げ掲示している。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	エレベーター前、玄関、スタッフルームに掲示し、毎朝申し送り前に唱和して共有している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		○	グループホームの理念・役割をパンフレットやにこにこ便り等に記載し、地域やご家族の方々に理解して頂ける様努めていきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・運営推進会議等で気軽に立ち寄っていただきたい旨をお伝えしている。 ・行事、散歩等を通し近隣の方々との交流がある。	○	グループホームの啓発、広報に取り組む。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域行事に参加している。 ・当施設の行事にボランティアとしても参加して頂いている。	○	・地域の行事、サークル愛好会などを調べ参加してみる。 ・地域の学校、施設との交流を企画したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・施設周囲ではあるが草刈等を実施しているが、地域貢献にまでは至っていない。</p>	○	<p>・以前に行っていた手作り雑巾の寄贈を行いたい。</p> <p>・環境整備(草刈やゴミ拾い等)に努めたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価にて指摘された事について早急に対処し、改善に向け努力している。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・運営推進会議を2ヶ月に1度開催している。</p> <p>・議事録を作成し、報告・意見を地域へ周知しサービス向上に取り組んでいる。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・運営に当たって疑問等がある際には、保健福祉事務所や広域行政組合に相談して解決している。</p>	○	<p>・担当者を決めて市町村との連携を持つ。</p> <p>・グループホーム連絡協議会を仲介して体制を作る。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・制度のあることは理解し知っているが、必要な利用者がいなかった為活用していない。</p>	○	<p>制度について知っているが勉強不足の面もあると思われるので勉強会を開催し、職員みんなで学んでいきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・虐待関連法について各自学んでいると思う。</p> <p>・虐待防止に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	個々の立場に立って解り易く丁寧な説明を行い、疑問、不安等が生じていないかを確認し、理解、納得を図っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見、不満、苦情を引き出せる様な関わり方や問応し、意見を聞き入れ早急に対応している。 ・施設内に苦情受付箱を設置している。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・健康状態の変化は、定期的に報告している。 ・にここにこ便りを2ヶ月に1度発送し、近況報告をしている。 ・金銭は事務所金庫で保管し職員で管理している。また上・下期に分け、ご家族に確認して頂いている。	○ ・職員の異動について広報に載せ、報告している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・サービス担当者会議を開催し、意見を伺っている。 ・意見等については、早急に対応し運営に反映させている。 ・苦情受付案内のポスターを貼り、サービスの質の確保、向上の為の意見等を前向きに活かす姿勢、体制を設けている。	○ ・年間を通してどのような意見、疑問等があり、どのように対応したか等の一覧を作成し、ご家族の方々へも報告していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・運営に関すること、利用者状況、サービスの実情、ケアの疑問等に関して、随時職員の意見の聞き取りがされている。 (勉強会、定期会議等にも実施)	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・できる限り職員の希望を取り入れられる様話し合い、調整している。 ・行事等が行われる際には、職員の人数を増員している。	○ 利用者の状況や緊急時に対応しきれない事のない様、職員で話し合いながら調整を行っていきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	私事による退職もあるが、職員の入れ替えは殆どない。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・資格取得の推進。 ・内部研修会・講習会への参加。 ・救命救急法の実践。 ・グループホーム内でも勉強会を開催し、サービス向上に努めている。</p>	<p>○</p> <p>・参加できる講習会や研修会へは、積極的に参加し、サービス向上、個々の技術の向上に努めていきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・グループホーム連絡協議会への参加。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・職員のストレス軽減に向け、随時相談にのっている。またグループホーム定例会議事にも話し合う機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>ストレス軽減に向け、今後も話し合う機会を持ち、相談しやすい環境作りに努めたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・目標評価制度で評価されている。 ・職員個々の努力や実績等がきちんと把握されているのか不明。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・契約前に事前訪問調査を行い、ご本人、ご家族との面談にてよく話を伺っている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・上記に同じ。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の方々によく話しを伺った上で、他のサービス利用を含めた対応に努めている。(必要時には当施設より他のサービスへ連絡もしている)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ご家族、ご本人と共に利用前に可能な限り、一度見学の為に来苑して頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	グループホームの理念にも掲げられている様に、人生の大先輩としての敬意を持ちながら、共に笑い、助け合いながら生活している。	○	時間のゆるす限り、ゆっくりと話しを伺う様に努めていきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・可能な限り面会に来て頂ける様、連絡している。 ・担当者会議、面会時、にこにこ便り等で、ご本人の生活を共に支援していく対等な関係を築ける様に努めている。	○	家族の方々が遠慮せずに意見等を伝えられる環境を作り、より深い関係となれるよう、力を入れていきたい。また相互の意見交換の場を設けていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・担当者会議やご本人の状況変化が見られた際には、随時ご家族へ連絡し情報の提供に努めている。 ・職員はご本人とご家族の間で中立的な立場を保ち双方を繋ぎ、良い関係となる手助けをしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・近所、馴染みの店、床屋へ出掛けている。 ・ふるさと訪問。 ・知人の面会。 ・ご家族、知人等への手紙。	○	ご本人の希望に添えないこともあるので、今後より希望に合わせ支援しながら多くの機会を設けていきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者の出来る事、出来ない事をグループホーム会議やケアノートで確認し、知らせる事で助け合い、支えあう関係が出来ている。 ・利用者間の意思疎通を図るお手伝いや間に入り、良好な関係となれる様に手助けしている。	○	何もしたがない利用者様が孤立しない様、出来る事を探りながら、利用者同士のより良い関係を築ける様に支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・サービス利用の間に培われた関係性を大切に、退去後も相談や支援に応じている。また気軽に来苑して頂きたい旨をお伝えしている。行事開催の案内も行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・生活の何気ない会話や担当者会議時、その人の考え、希望を聞き取り、ケアプランに活かす様にしている。 ・その人らしく暮らし続ける支援に向けて、一人一人の思いや暮らし方の希望、意見に添える様に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・新規入所される方に関しては、申し込み時から積極的に情報収集し、把握に努めている。 ・現在入所されている方に関しても、ご家族やご本人からお話を伺いながら、新たな情報収集をしている。	○	ご家族、ご本人だけでなく面会に来苑された知人の方々等にもお話を伺いながら、更に情報収集に努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・朝の申し送り時に一人一人の一日の様子を確認し、職員同士で共有、把握に努めている。 ・グループホーム会議で話し合いの場を設けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご本人が入所前に大切にしていた事を出来るだけ再現出来る様、プラン作成前にご本人、ご家族の意見を伺い、ケアプランに反映出来る様に努めている。	○	現在入所されている方でも、今まで通りで良いと話される方もいらっしゃるので、日常の会話の中から、意見や希望を聞きだしながら、その方らしい生活が送る事が出来る様に努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・朝の申し送り時に、一人一人の様子を確認しながら随時検討し対応している。対応の際には、現状をご家族、関係者にも連絡し、話し合いながら進めている。 ・見直し以前であっても変化が見られた際には、ご家族、ご本人と話し合い後に修正し、新たな計画を作成し実行している。	○	現状に即した計画となる様、今後も必要に応じて随時検討しながら対応していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケアプランや排泄の様子、介護記録等を個別で記録し、カードックスにまとめ把握しやすくし、情報を共有している。記録を基に介護計画の見直しに活かされている。	○	・ケアについて職員が気付いた事を記入する。 ・ケアノートを別に作成し、見直し時期に関係なく随時検討している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスの機能訓練器具を兼用し、機能の向上、維持に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・防災訓練や心肺蘇生法の講習会で消防の方々から協力を頂いている。 ・花壇の整備や行事開催時には、ボランティア(地域婦人会、学生、家族等)の方々が来し協力しながら実施している。	○	・協力体制作り。 ・利用者へ情報を提供する事により、活用する機会を増やしていく。 ・協力して頂くだけでなく、地域にも貢献できる様に今後検討していく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・他のサービスを利用したいという意向や必要性がなく、サービスに至っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方にも運営推進会議に参加して頂き、協働している。	○	権利擁護の勉強会を予定しているので、講師として協力を仰ぎたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望に沿ったかかりつけ医の医師による医療を受けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・認知症に詳しい医師との関係を築いていない。 ご家族に再受診をお勧めするも、拒まれる事もある。	○	認知症に関する相談ができる医師との関係を築いていきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・看護師を配置している。 ・常に連絡が取れ、安心して対応ができる。 ・日常の健康管理や必要時には、医療との連携を図っている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院時にも心身の大きな影響のない様、ご家族とも相談しながら、医療機関に対しても話し合いの機会を設け情報交換しながら支援している。 ・入院時には不安のない様子見舞いに行き、様子観察している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針が出来ており、ご家族の同意もある。ただ、重度化、終末期のあり方について、ご家族や主治医と繰り返し話し合っていない。	○	今後利用者の重度化、終末期のあり方について、職員全員が適切にケアできる様、対応方針について共有を図りたい。またご家族や主治医とも話し合いを増やし、方針を共有したい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・医療連携の面では、常勤の看護師がいる為、特変時には心強い。しかしターミナルケアはまだ未経験である為、施設内でターミナルケアの勉強会を実施している。 ・看取りの指針は出来ているも、実際にターミナルケアは行っていない。	○	ターミナルケアの勉強会は今後も継続していきたい。何ができ、何ができないのか、職員、施設として必要なことを検討していく。安心と安全を確保し、一日でも長く暮らして頂く為、チームで協力して支援していく。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退・入所時に話し合いの場を設け、管理者及び職員が対応している。またその内容について文章で周知している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>利用者一人一人の人格を尊重し、プライドを傷つけたり、誇りを損ねる様な声掛けや対応をしない様、注意している。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>利用者はそれぞれ違った環境で生活してきたのだから、一人一人違った対応や働きかけ、説明を行い、引き出す様な支援に努めている。</p>	○	ご自身が決められたり、望まれている事を、利用者それぞれに合わせて対応を考え、確立していく。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>一人一人の生活のリズムを大切にしている。それぞれの一日のリズムが大体決まっており、そのペースを出来るだけ崩さない様に配慮している。</p>	○	職員側の都合を押し付けない様注意し、希望に沿って支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>利用者それぞれの希望に合わせた理・美容院を利用して頂いている。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>下ごしらえや後片付けは一緒に行っている。(職員の声掛けで行って頂くことが多い)</p>	○	利用者様が自ら参加して頂く様にしたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>お酒の好きな方々が多いので、夕食の際楽しんで頂いている。(毎日ではなく、1～2回/w)</p>	○	今後も支援を続けていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・失禁の際は、自室やトイレへさり気なく誘導し、プライドを傷つけない様に配慮している。 ・排泄チェック表を確認しながら、トイレ誘導を行いパットやリハビリパンツの使用を減らす様に努めている。	○	今後も気持ちよく排泄して頂く様に支援していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴時間帯は勤務の関係で決まっている。 ・一人週3日の入浴は確保しており、入浴時間の中で「何番目に入りたいですか?」とお聞きしながら対応している。また入浴日を指定する方もいる。	○	夕方に入りたい方もいらっしゃるので、今後業務の見直し等を行い、希望に沿える様に支援したい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	食事や体操、レク等の行事以外は、それぞれの居室で横になられたり、自由に休まれている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの得意分野や役割の中で活躍できる場面を作る様配慮し、支援している。	○	今後も継続していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで預っている小遣いの他に、希望される方は財布を持たれている。その中からジュースやはがき等を購入されたりしている。	○	今後も継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買出しや散歩、外食等外出は頻繁に行っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	週に1回はドライブに出掛けており、行き先は利用者からの希望を伺う様にしている。大型バスで高速に乗り、遠出する事もある。	○	今後はご家族様も一緒に出掛ける機械を作り、また外出支援も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・友人や家族とのはがきのやり取りをされている利用者もおり、投函やはがきの購入等の支援を行なっている。 ・電話は希望があればご家族へ連絡を取っている。	○	今後も継続していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や知人、友人との交流がある。面会時はホールでも居室でもお好きな場所でお茶を提供し、くつろいでお話し頂ける様にしている。	○	今後も継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。	○	定期的に職員の勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組みたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。心理的な不安、家族や面会に来られた方々にもたらず印象のデメリットを認識し理解している。	○	今後も継続していききたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーに配慮しながら所在、安否確認を行っている。	○	今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	針は本数を確認し、ハサミ等必要な際は提供している。包丁等も利用者と職員が一緒に使う様にしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故は再発しない様、全職員で話し合いをしている。どうすれば安全が確保できるか取り組んでいる。	○	事故防止の話し合いは行っているが、職員の意識に差があるので、統一したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急講習会が年2回開催され、全員が受講している。AEDも設置されている。	○	今後も継続していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を月1回実施している。 しかし有事の際の2階からの避難対策や地域の人々の協力が得られる取り組みを行っていない。	○	利用者も職員も避難方法に不安を感じている。災害対策の具体的な避難方法を早急に検討する。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人一人に起こり得るリスクについてご家族に説明、報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異常の早期発見に努める。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期受診の際、処方薬が変わった際や副作用等の説明書を見て、情報を全職員が共有している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄表をチェックし、便秘の日数を確認している。また日中は毎日の体操の他、朝起床後の飲水、夕食前の散歩をして頂いている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一部の利用者が毎食後歯磨きをされるが、それ以外の方は、夕食後のみ歯磨き、入れ歯洗浄剤に每晚浸している。	○	毎食後、口腔ケアを行なう様、声掛けし清潔保持に努めたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は一人平均1ℓ/日以上と決め、水分摂取量把握表を基に水分摂取量の少ない方には、多めに水分を取って頂き、食事量についても介護観察記録を基に摂取量を確認している。	○	今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関して、予防マニュアルがあり、実行している。	○	今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	消費、賞味期限などの食品管理を行っている。新鮮で安全な食材の活用を行い、まな板、包丁、布巾等はハイター消毒を行っている。また全職員が3ヶ月に1回、検便を行っている。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前のスロープの端に鉢植えを配置し工夫している。	○	今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に合わせた飾りを配置している。ホールや洗面台付近には、散歩で摘んできた花や庭の花を飾り、和やかな雰囲気作りを行っている。	○	今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには、小上がりの畳スペースがあり、キッチン前、窓際にソファを配置し、そこで利用者が新聞を読んだり、CDを聴いたりされている。	○	今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	使い慣れた家具や思い出の品物、位牌等が置かれている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	・居間や居室に温湿度計を設置し活用している。 ・エアコンはタイマー設定し使用。 ・換気は頻繁に行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	廊下、エレベーター、トイレ、浴室に手摺り、滑り止めマット等 を設置している。	○	今後も継続していきたい。また利用者の状態に合わせて見 直しが必要と考えられる。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	各居室毎に利用者の名札を下げている。またキッチンの引き 出し等に何が入っているかシールを貼り付け、分かり易くして いる。居間のテーブルには、それぞれの席に名前を貼り付け る等、行っている。	○	失敗したり、混乱した時には、常に寄り添い不安を取り除い ていきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	施設の脇にグループホーム花壇があり、利用者の散歩の 際、目を楽しませている。またベランダもプランターに花を植 え、設置する事で利用者や面会の方々にも好評である。	○	今後も継続していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

理念にもある様に「地域住民との交流」に力を入れて取り組んでいる。運営推進会議を開催する様になったので、月1回の資源ごみの回収車が施設に来る様になり、環境整備で地域の「いきいきサロン」の方々が、花壇の手入れをして下さったり、施設の行事に地域住民の方々が参加されたり、婦人会ボランティアや学生ボランティアの協力を頂いている。また地域住民の方々による本の読み聞かせや踊り、地域の祭りや文化祭等の参加も行っている。